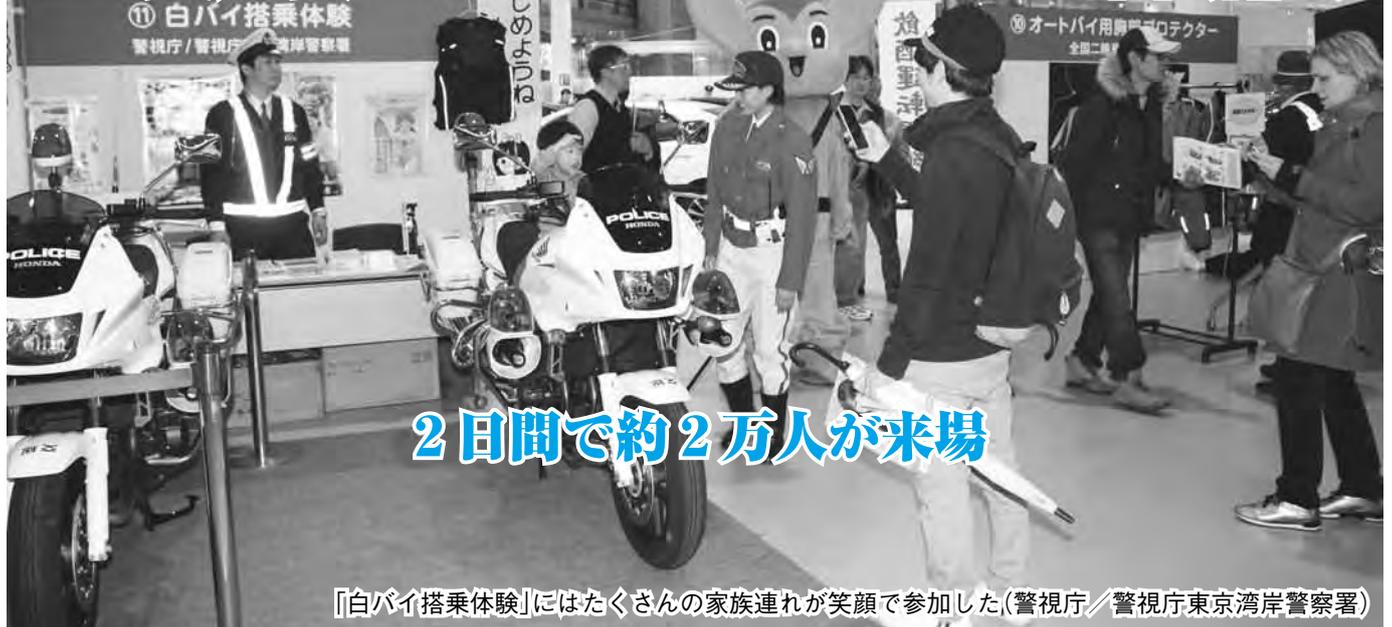


楽しみながら体験する交通安全啓発イベント 「交通安全。アクション2017 お台場」



『白バイ搭乗体験』にはたくさんの家族連れが笑顔で参加した(警視庁/警視庁東京湾岸警察署)

日 本自動車会議所は11月18日(土)、19日(日)の両日、東京・江東区のパレットタウン内「メガウェブ」で、交通安全の大切さやルールを楽しく学べる体験型交通安全啓発イベント「交通安全。アクション2017 お台場」を開催した。「交通安全。アクション」は昨年から年2回開催しており、今年は4月の「春の全国交通安全運動」期間中に高齢者をはじめ幅広い年齢層が大勢訪れるターミナル駅である「新宿」で開催。2回目となる今回は、秋の行楽シーズン中に東京有数の人気スポットであるお台場で開催し、多くの家族連れやカップルなどで賑わった。来場者は2日間で約2万人(主催者集計)にも上り、盛況のうちに幕を閉じた。

昨年の交通事故死者数は3,904人で、昭和24年以來67年ぶりの3,000人台になったものの、歩行中・自転車乗車中の死者の割合が高く、高齢者の死者数が全体の半数を占めるなど、交通事故情勢は依然として厳しい概況が続いている。開催初日、主催者を代表して挨拶した当会議所の中島哲専務理事は、「交通事故死者数は減っていると言われていたのですが、事故の一つひとつが大変な悲劇の積み重ねです。その悲劇を1件でも、2件でも減らす気持ちで2日間取り組んでいきましょう」と呼び掛けて、イベントがスタートした。



会場の子どもたちも参加して盲導犬のお仕事などを学んだ「盲導犬ふれあい教室」(全国盲導犬施設連合会、日本盲導犬協会)

「アクション2017 お台場」は、国土交通省、警察庁、警視庁交通部、東京都、江東区教育委員会が後援し、当会議所の会員団体はじめ開催の趣旨に賛同する官民合わせて48の参画団体・企業が一体となって実施。「家族で広げよう交通安全」をテーマとし、交通安全の大切さやルールを楽しく学べる15の体験型ブースを用意したほか、スタンプラリーや交通安全ビンゴ大会、キャンパスクイーンなどのステージショーも行われ、家族連れをはじめ、小さな子どもから高齢者まで多くの来場者がイベントを楽しんだ。

「交通安全。アクション2017 お台場」

会場風景



大勢の家族連れなどで賑わった会場の「メガウェブ」



子どもからお年寄りまで大勢の人が楽しんだ「交通安全ピノゴ大会」



華やかなステージで来場者を魅了したキャンパスクイーンのみなさん



人間の目の錯覚を体験させてステージを盛り上げるピエロのタフィーさん



ライディングシミュレーター＆ゲンチャレ
(日本二輪車普及安全協会)



おでかけぱんだ・頭部保護帽
(日本自動車研究所)



子ども安全免許証
(日本自動車連盟)



俊敏性測定「あなたの俊敏性は何歳？」
(イーティエフ)



てんけんくんぬり体験コーナー
(日本自動車整備振興会連合会)



自動車運転適性診断「ナスバネット」
(自動車事故対策機構)



首都高安全広報隊
(首都高速道路)



反射材体験
(全日本交通安全協会)



オートバイ用胸部プロテクター
(全国二輪車用品連合会)



盲導犬ふれあい広場
(日本盲導犬協会 / 全国盲導犬施設連合会)



交通安全シミュレーターコーナー
(東京都青少年・治安対策本部)



電動車いすの安全利用
(電動車いす安全普及協会)



交通安全約束手形
(共同ブース)



飲酒疑似体験ウォーキングゲーム
(共同ブース)



飲酒運転事故加害者の手記
(東京都交通安全協会)



スタンプラリーのスタート&ゴールでもある「総合受付」



司会者がイベントの様子をライブ中継



愛嬌いっぱい子どもたちと接する警視庁のマスコットキャラクター「ピーポくん」



子どもたちがいつも駆け寄ってくるマスコット「てんけんくん」(日本自動車整備振興会連合会)